

投資先を探しているアナタへ！ イチオシの注目企業大解剖



多角的な事業展開をみせる同社の中核をなすのが、ホテル運営事業だ。主力ブランド「リソルホテルズ」では、コンシェルジュサービスやこだわりの朝食等でブランド構築を強化。旺盛なインバウンド需要を捉えるツーリストホテルとして無二の地位を築いた。中長期商品の利用が伸びる別荘シェア利用事業「リソルステイ」をはじめ事業幅も拡大しており、関東圏を中心に、将来を見据えた新たな運営ホテルの開業準備や新規物件開拓が着々と進んでいる。

**海外客を捉えたホテル
事業が好調で増収増益**

東プ・5261

リソルホールディングス
株式会社

**インバウンド需要で止まらぬ成長
お得度アップの優待拡充銘柄**

活発なインバウンド需要の波に乗り、26年3月期2Qを増収&2桁増益で着地。好調なホテル・ゴルフ運営事業に加え、領域拡大が進むウェルビーイング事業にも注目だ。

もうひとつの収益の柱であるゴルフ運営事業の業績も堅調に推移。特に、夏季の酷暑対策として業界に先駆けて導入したクーラー付きカートやコース・クラブハウスの上質化等、ゴルフ場全体の品質向上施策が来場者及び客単価の上昇に大きく寄与した。複数のフェアウェイフロントヴィラの開発準備も進むほか、昨年10月にはタイ「ザ・レガシーゴルフクラブ」との業務提携を開始。今後は海外ゴルフ場との連携を含め、国内外で事業を拡大していくという。リソルの森事業では、ドッグヴィラ「Dear Man Spa Garden」が高単価で稼働したほか、ランタンや蛍、観月会、気球、花火、ナイトプールといった施設内イベントがSNSで話題を呼び、認知を広げている。

**新領域拓く、ウェルビー
イング事業の未来像**

25年秋、次なる成長ドライバーに見据える福利厚生事業をウェルビーイング事業へと名称変更。包括的なウェルビーイング領域における事業展開が期待される中、代表・大澤氏も「今後はウェルビーイングを核にOEM会社として新市場を拡大していく。すでに複数の会社と具体的な商品設計を進めている段階だ」と自信をのぞかせる。三井不動産グループや70万人規模の関東ITソフトウェア健康保険組合等、大規模組織のハウスエージェンティ化も進んでおり、こ

の点においても高い収益性が期待できるだろう。

26年上期は、売上高151・2億円（前年比9%増）、経常利益23%増、当期純利益29%増で着地。26年3月期末の配当も1株当たり100円予想（前期比同額）と安定配当が続く。堅調な業績に相関するかたちで株主優待制度も拡充され、自社グループのホテルやゴルフ場等で利用できる商品券が最大2・5倍（最大10万円）まで大幅増額された。事業間シナジーによって利益成長を遂げている同社だからこそなした拡充といえ、優待ファンにとってもますます見逃せない銘柄になるにちがいない。



代表取締役社長
大澤 勝氏

企業DATA リソルホールディングス株式会社

RE SOL
リソルグループ

東京都新宿区
西新宿6-24-1
西新宿三井ビルディング12F



CHECK!

3つのPOINT!

1 インバウンド需要で
ホテル&ゴルフ運営好調

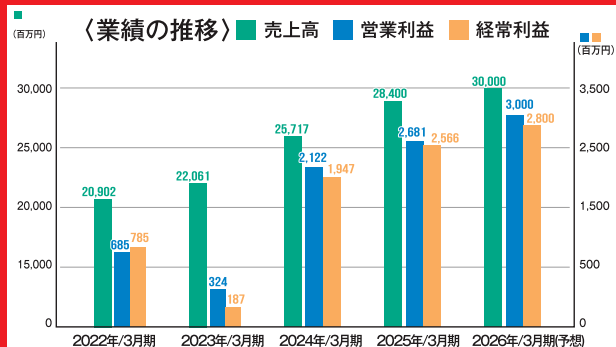
2 市場規模12兆円超!
ウェルビーイング領域で事業拡大

3 株主優待“超”拡充!
最大10万円分の商品券

ホテル運営事業が好調に推移し、26年3月期2Q連結決算は2桁増益。企業愛を深める優待でファン株主を増やす。

DATA

注：データは2025年11月25日時点



株価

6,180円

配当利回り
(今期予想)

1.62%